

病院だより

糖尿病の検査「HbA1c」(ヘモグロビン・エー・ワン・シー) ってなに？

町立和寒病院 検査科長 宮部 健治

■日本で最初の糖尿病患者



日本初の糖尿病患者と考えられているのは、遠く平安時代、源氏物語の主人公光源氏のモデルになったといわれる『藤原道長』(966～1028)で、糖尿病で亡くなったとされています。道長は51才で「消渴」(私たちが現在糖尿病と呼んでいる病気の症状とそっくりな病)を発病し、続いて眼病を併発、最後は背中に大きなオデキを併発し、敗血症で62才で亡くなられたようです。この切手は平成6年(1994)日本で初めて国際糖尿病連合(IDF)の会議が開かれたときの記念切手で、絵柄の六角形はインスリンの結晶を表しているそうです。世界的には紀元前の古代エジプトの古文書に人類初の糖尿病の症状らしき記述があるようです。

■HbA1c(ヘモグロビン・エー・ワン・シー)とは？

血液検査のすべもなかったそんな昔から、糖尿病があったことは驚きです。今では糖尿病の診断や糖尿病のかたの治療の最も重要な指標になる血液検査項目が「HbA1c」です。これは、食物の糖分が血液に吸収されて、赤血球の中のHb(ヘモグロビン)とブドウ糖が結合してできる物質です。

当院でもHbA1cは検査の中でも一番多く、年間に2,800件にもなっています。

くわしく説明すると、専門用語も多く出てきて、生物や理科の授業のようになり、難しくて読みたくなるかたもいらっしゃると思いますので、できるだけ簡単にご説明しましょう。

Hbは赤血球の中に含まれています。その赤血球は骨髄で作られ、赤血球の寿命は約120日間体内を循環し、最後は主に脾臓で分解されます。

赤血球が体内を循環する120日間(約4か月)の間にHbはブドウ糖と結合しますので、HbA1cは過去4か月の血糖値の状態を表していることとなります。しかし、赤血球の50%は、過去1か月間に作られ、25%は過去2ヶ月、残りの25%は3～4か月で作られますので、近い過去の血糖値ほどHbA1cに大きく影響するという事で、臨床的には過去1～2か月の平均血糖値の動きをみるために使用されています。

その値は総ヘモグロビンに対するHbA1cの割合(%)で表します。正常値は4.6～6.2ですが、日本糖尿病学会では「血糖コントロールの目標」として、血糖正常を目指す場合は、6.0未満、糖尿病合併症予防のための目標は7.0未満と定められています。治療目標は個々の患者さんの状態によって決められます。

生活習慣病として糖尿病が増えていますが、血糖の高い血液が流れ続けることによって血管が傷つき、心筋梗塞や腎障害・失明など、命にかかわったり、生活に大きく支障が出たりする合併症が起きてしまいます。

健診はぜひ受けて、糖尿病のかたは受診のたびに「HbA1cの数値は？」と医師に聞いて、健康管理に活かしていただきたいと思います。

自衛官等募集

■受験種目	■応募資格	■受付期間	■試験期日
一般曹候補生	18歳以上27歳未満 (平成27年4月1日現在)	平成26年8月1日(金)～ 平成26年9月9日(火)	平成26年9月19日(金)又は、 平成26年9月20日(土)
自衛官候補生 (男子)	18歳以上27歳未満 (採用予定月の1日現在)	年間を通じて行っています	受付時にお知らせします。
自衛官候補生 (女子)	18歳以上27歳未満 (採用予定月の1日現在)	平成26年8月1日(金)～ 平成26年9月9日(火)	平成26年9月25日(木)～ 平成26年9月29日(月) ※いずれか1日を指定されます。
航空学生	18歳以上21歳未満 (平成27年4月1日現在)	平成26年8月1日(金)～ 平成26年9月9日(火)	平成26年9月23日(火)

■お問い合わせ先

自衛隊旭川地方協力本部 名寄出張所
住所 〒096-0011 名寄市西1条南9丁目45
電話 01654-2-3921

※受験申し込みは、和寒町役場総務課でも対応いたします。

